

ゴールボール教室

2月8日（火）の6時間目に、1・2学年の生徒を対象に、ゴールボール教室を行いました。アスリートとの交流を通して、スポーツを楽しむ心や、共生社会の実現に向けて障がい者理解を深めることを目的として行われた授業です。今回は講師として、ゴールボール選手の若杉遥さんに、Zoomでお話していただきました。

<講師紹介>



写真提供/ALSOK 承諾

若杉 遥さん

東京都出身。ロンドン大会から3大会連続パラリンピック出場。
12年前、骨の病気で視神経が圧迫されて左目の視力を失い、特別支援学校の教員にすすめられてゴールボールを始める。

<主な実績>

- ・2012年ロンドンパラリンピック「ゴールボール」金メダル
- ・2021年東京パラリンピック 「ゴールボール」銅メダル

<ゴールボール教室の授業より>

今回の「ゴールボール教室」はZoomで行われました。初めに講師の若杉先生より、ゴールボールの歴史や、競技の紹介をしてもらいました。続いて講師の先生の自己紹介、普段の生活で工夫していることを教えていただきました。若杉先生のゴールボールとの出会い、実際の試合の様子などの話を織り交ぜながら授業は進みました。また画面越しにパラリンピックのメダルを見せていただきました。生徒からは「すごい!」「きれいだね。」など様々な声が挙がりました。若杉先生からは、今しかできないことに全力で取り組もう。頑張っている人を全力で応援してほしいとのメッセージをいただきました。

<授業の様子>



<< 生徒感想より >>

- 若杉さんのお話を聞いて、夢を追いかける人を応援したいと思いました。
- 自分のやりたいことを見つけたら、努力を続けて、みんな応援されるような人になりたいです。
- 希望を失ってしまっても、今の自分の状況と向き合って、夢を追いかける姿がかっこいいと思いました。
- 今回の講演を通してパラスポーツに興味があったので、さらに調べてみようと思いました。